ニュース0425
マイ・ネット
西武新聞社
〒196-0022　昭島市中神町1-12-14
TEL042(525)0425　FAX042(526)2450
http://www.teema.jp/marathon/

“みんなで走って！みんな元気”

立川駅北口　フロム中武6階　パワーズスポーツ立川店
昭島駅北口　昭和の森　スポーツデポ昭島店で受け付け

ニューカレドニア国際マラソン姉妹提携「立川・昭島マラソン」第28回大会」は第12回日本学生ハーフマラソン選手権大会並びに第25回ユニバーシアード競技大会日本代表選手選考会を併催して来春3月8日（日）、国営昭和記念公園をメイン会場に、陸上自衛隊立川駐屯地滑走路南端をスタート地点にして、公園内と外周道路をコースにしたハーフマラソン（21・0975㌔）10キロ・3キロレースの男女6種目にわたって行なわれる。

また、園内みんなの原っぱではサブ種目として、家族・友人・知人が楽しめる「周約800㍍を3人が継ぐ3人一組（男女混合5周）のファミリー駅伝が催される。

●募集期間

同大会の出場選手募集は10月10日（金）から始め、来春1月12日（月）までの3か月間、次の要領で行なわれる。しかし、各種目とも定員になり次第締め切られる。

大会事務局では「毎回申し込み締切日近くになると窓口が混雑しますので、早めに手続きを済ませるようお願いします」と呼びかけている。

●コース

コースは前回と変わっていない。

ハーフマラソンは陸上自衛隊立川駐屯地滑走路南端をスタート。同滑走路を北上、左回りに2周して、正門前を左折、市街地に入る。

中央南北線を北へ。五差路を左折して大山住宅団地に入る。同団地を抜けて公園南側外周に沿って昭島市内へ。昭島ガス正門前、公園西立川駐車場前を左に見て、公園立川口へ。

ここで市街地と別れをつげ、緑濃い公園内に入る。園内外周路を大きく左回り。みんなの原っぱ北西側がゴール。各種目ともゴール地点は同じ。

10キロレースも同様、陸上自衛隊立川駐屯地の理解と協力で、滑走路を左回り2周、広域防災連絡口から直接公園内に入る。公園外周を左回り1周してゴールする。

3キロレースも前回と同じコース。みんなの原っぱ南端をスタート。外周を半周してフィニッシュ。

競技は平成20年度日本陸上競技連盟規則及び本大会開催要項、同競技規則によって実施される。

●走行制限時間

市街地を走るハーフマラソンは、立川・昭島市内の交通事情に伴いランナーの走行制限時間が設けられている。

▽5・5㌔地点／スタート後39分（午前10時06分）▽8・2㌔地点／52分（10時22分）▽11・1㌔地点／72分（10時42分）

競技はスタートしてから2時間20分（11時50分）をもって終了することになっている。

なお、大会開催日に積雪・降雪・災害等、走行不能や緊急事態が発生し競技ができない状態にある時は、大会を中止、またはコース等を変更する場合がある。

●スタート時間と参加賞

ハーフマラソン／午前9時30分スタート。

年代別表彰は16歳以上39歳以下の男子一般（当学生陸上競技連合登録者は除く）、40・50歳代、60歳以上と日本学生陸上競技連合登録学生。

女子は16歳以上39歳以下の一般と、40歳以上に分けられる。

参加費は男女一般3000円、高校生2000円。

10キロレース／午前10時50分スタート。

16歳以上49歳以下の男子一般、50・60歳代、70歳以上。高校生。

女子は16歳以上39歳以下、40・50歳代、60歳以上となっている。

参加費は男女一般2500円、高校生1500円。

3キロレース／男女中学生以上は午前11時50分スタート。次いで12時05分に小学5・6年生。

本大会最終スタートとなる12時20分、小学3・4年生。

参加費は男女一般2000円、高校生1500円、小・中学生は1000円。ただし、立川・昭島市内在住者は500円。

ファミリー駅伝／サブ種目のファミリー駅伝はみんなの原っぱ内に設けられた一周約800㍍の周回コースを3名一組で計5周する。

A組は午前10時スタート。中学生以上2人が各2周、小学生1人が1周する。

B組は午前10時30分スタート。中学生以上1人と小学生2人のうち1人が各2周、残る1人が1周する。

C組は午前11時スタート。小学生3人のうち2人が各2周、1人が1周する。

参加費は一組（3人）1000円。

●申し込み方法

出場を希望するランナーは、所定の申込書（払込取扱票）に記入もれのないよう必要事項を記入して、参加料を添えて、最寄りの郵便局から送金する。2人以上の申し込みをする場合は、それぞれ申込票に記入し、合計参加費を定額小為替か現金書留で同封して大会事務局（〒196―0022昭島市中神町1―12―14）へ申し込むこともできる。

申込書（振込取扱票）と参加費を別々にならないよう注意のこと。

サブ種目のファミリー駅伝の参加希望チームは、代表者名（住所・電話番号）チーム名を記入して申し込むことになっている。

なお、日本学生陸上競技連合登録の学生は、同連合事務局へ直接申し込むことになっている。大会事務局では受け付けていない。

各種目とも参加費にはナンバーカード（ゼッケン）、公園入園料、参加賞、マラソン保険料が含まれている。納入された参加費は返金しないし、種目の変更もできない。

●申込窓口

直接申込の窓口は立川駅北口、歩いて3分のフロム中武6階、スポーツ用品売場のパワーズスポーツ立川店、または昭和の森のスポーツデポ昭島店カウンターで受付ける。

●募集要項申込用紙

第28回大会のランナー募集要項（申込票つき）は、立川・昭島両市の市役所1階と立川市泉市民体育館、昭島総合スポーツセンター、パワーズスポーツ立川店（フロム中武6階）、スポーツデポ昭島店（昭和の森）に置いてある。

●問い合わせ先

☎042（523）0003、FAX042（526）2450へ。

都下少年野球秋の新人戦終わる
多西が優勝
準優勝は柏トルネード
滝島、豊泉らに個人賞

都下少年野球秋季新人戦最終日は10月26日午前9時から真如苑村山グランドで、準決勝、優勝決定戦の3試合が行われ、投打に勝る多西ヤングライオンズ（あきる野市）柏トルネード（立川市）は一歩及ばず準優勝、3位には増戸少年野球クラブ（あきる野市）立川ファイターズジュニア（立川市）の両チーム。

▽準決勝

多西ヤングライオンズ　210　003／6
増戸少年野球クラブ　000　022／4
㊙木田雄斗・滝島裕太―滝島淩太（多）吉沢和寿―秋葉雅大（増）

柏トルネード　002　040／6
立川ファイターズ　200　001／3
㊙谷口雄祐・豊泉恵太―弓場誠（柏）高橋洸太・大城翔―中谷晃（フ）

▽決勝

多西ヤングライオンズ　101　1000／3
柏トルネード　000　0020／2
㊙木田雄斗・滝島裕太―滝島淩太（多）谷口雄祐・豊泉恵太―弓場誠

◇

準決勝2試合は、あきる野、立川同士の決勝進出戦となったが、多西ヤングライオンズと柏トルネードが抜き出た。

準決勝では投手戦の様相を呈したが、打に一歩勝る多西が、まず1回、先制点を上げ、守備の乱れを突いて3・4回に各1点を挙げ、前半を制した。

柏は後半、ようやく6回連打したが、そこまで。2点が精一杯だった。

終わって、表彰・閉会式に入り、桑幡曇州・都下少年野球学童連盟より栄冠に輝いた多西に真紅の優勝旗、優勝杯、準優勝の柏に準優勝杯がそれぞれ贈られ、金・銀メダルがナインの胸に輝いた。

閉会式後、ダイヤモンドを一周、お母さん・お父さん、役員らの大きな拍手にわいた。

▽最優秀選手賞／滝島裕太（多西ヤングライオンズ）▽優秀選手賞／豊泉恵太（柏トルネード）▽敢闘賞／木田雄斗（多西）弓場誠（柏）

佐藤多持の遺作展

12月14日（日）までの午前10時～午後6時、西武池袋線中村橋駅、歩いて3分の練馬区立美術館常設展示室で、コレクション特集展示「佐藤多持の遺作・水芭蕉曼陀羅への軌跡」が開かれている。

同展には多持の初期作20点が展示されている。☎03（3577）1821。

子どもを守るためのインターネット

11月30日（日）午後2～4時、昭島市中神小学校で、子どもと親の家庭教育講座「子どもを守るためのインターネット安心・安全講座が開講される。孔子は福井亨さん。昭島市教育委員会☎042（544）5111内線2255社会教育課青少年係へ。

ニューカレドニア国際マラソン姉妹提携
立川・昭島マラソン第28回大会
来春3月8日（日）開催

ハーフマラソン、10・5キロレース、サブ種目ファミリー駅伝

受付窓口
立川駅北口　フロム中武6階　パワーズスポーツ立川店
昭島駅北口　昭和の森　スポーツデポ昭島店

申し込み受付　1月12日（月）まで　定員になり次第締切り

立川・昭島マラソン実行委員会
FAX 042-526-2450
☎ 042-523-0003

ニュース042.5 マイ・ネット
西武新聞社 〒196-0022 昭島市中神町1-12-14 TEL042(525)0425 FAX042(526)2450
http://www.teema.jp/marathon/
2008年平成20年12月25日 木曜日 第972号

「秋の楽市」10万人の賑わい

“世界ふれあい祭 参加国もっと多く”

秋の楽市は11月2・3の両日、まずまずの好天に恵まれ、国営昭和記念公園緑の文化ゾーンにざっと10万人の市民が繰り出す賑わいだった。

立川しみん祭（地域プラザ、グループ広場コーナー、世界ふれあい祭、安全安心まちづくりコーナー）立川市農業祭（農産物・植木品評会、野菜宝船）模擬店、たちかわ商人祭（マイバック持参抽選会、東京ヴェルディ・キッズサッカー&選手サイン会、ポケットモンスターキャラクターショー、暁恵歌謡ショー、マグナム小林のバイオリン漫談、シルバー人材センター・フェスタ、オータムピクニック2008…と盛りだくさんの催し。中でも野菜宝船の宝わけや農産物・植木品評会出品物の販売、堆肥分けには長い列ができるほどだった。

また、異色の「世界ふれあい祭」にはネパール、エジプト、フィジー、ケニア、メキシコ、ポーランド、タンザニア、トルコ、アイルランドの9か国大使館関係や西東京第一朝鮮初中級学校の朝鮮料理、チマ・チョゴリや和服の着物体験、外国人バザー、TMCバザー・世界のお茶、立川四中交流支援ネットワークと来年50周年を迎える立川サンバナ姉妹市委員会の交流展示などが出店。異色の料理には長い列が出来た。

また、海外事情を大使館員らに直に聞く市民や民芸品に若い人が訪れ数多く買う姿も合った。

「もっと多くの国が参加すると良いですね。来年を期待しています…」と各国大使館の人たちと直接話ができる機会や料理を楽しみにしているようだった。

8割の市民が知らなかった

立川四中交流支援ネットワークのテントでは昨夏ニューカレドニアを訪問、ホームステイ留学をしてきた四中生の交流報告の写真などを見たり、その保護者から〝ホームステイ留学〟事情を聞いていた。

また、この両日、来場者アンケートが行われ、54人の市民がそれに応えていた。このアンケートに参加した人の中からニューカレドニア観光局提供の国鳥・カグーのイラスト入りバッグが抽選でプレゼントされニコニコ顔だった。

このアンケートに参加した市民は立川（61%）はじめ国立、稲城、江東、日野、東大和、武蔵村山、八王子、多摩、市川。

この7月、ニューカレドニアが世界遺産に登録されたことを知っていた人は22%にとどまった。

また、立川市立第四中学校とニューカレドニアのボドゥー中学校が姉妹提携し、相互に短期ホームステイ留学をしていることを知っている市民は、わずかに12～14%と低い数字。

一方、来春28回を迎える立川・昭島マラソンとニューカレドニア国際マラソンが姉妹提携していることを知っていたのは18%だった。

それでもニューカレドニアに行ってみたい、資料（情報）が欲しい人は35%に及んだ。

改めて、ニューカレドニアとの交流についてのPR、情報不足を痛感していた。また、次のような意見、励ましのメッセージが寄せられた。

「すごーい！頑張って」「ニューカレドニアとの交流を続けてほしい」

「立川がこんなにニューカレドニアとの交流があるのに驚きました。今後も続けてほしい」「素晴らしいことです。若い人たちは、これから大切なライフワークです。頑張って下さい」（いずれも立川市）

また、立川市外からも「立川市以外の中学校でも積極的に交流を持ってほしい」（東大和市）

「全く知りませんでした。びっくりしました」「すごーい！」「どんどん交流してほしい」「頑張って続けて」…と、立川市民が手づくりの中学生の交換留学事業に驚きと賛辞励ましのメッセージがつづられていた。

一方「立川市民に、もっともっと広く知られるよう、頑張って下さい」（立川市）と広報不足の指摘もあった。

立川発…心と心をつなぐ歌手・ユウ燕

エフエム立川 日曜昼に放送

〝心と心を繋ぐ、約束に向って〟―10月11日午後2時と6時からの2回、立川市市民会館大ホールで行なわれた東京東大和ライオンズクラブ創立30周年記念「大月みやこチャリティーコンサート」で、スペシャルゲスト出演、市民から大きな拍手を呼んだ歌手・ユウ燕（エン）は、10月5日から毎週日曜日午前11時30分から正午の30分間、エフエム立川に登場、新番組「心心相約」でトークと歌でつづる。若さと鍛えた歌唱力、そして、日本語を通して「日中の架け橋になれたら…」と立川市民の期待に応えたいという。

東大和LC創立30周年チャリティーコンサートの感動再び

大月みやこチャリティーコンサートは10月11日昼よる2回、立川市市民会館大ホールで、東大和市社会福祉協議会の車椅子を含め200余人の関係者を招待。大月みやこはじめ地元の歌手、伊達めぐみ、雅乃曄、中條なおと、林ごずえ、三条ひろみ、麻川萌、かすやあきこと共に、スペシャルゲストとして、立川市民お馴染みのユウ燕（エン）が、「生命ひとつだけ」「つぐない」「青蔵高原」の3曲を『日中親善平和大使』首都北京市『愛心大使』に恥じないクラシック、オペラで鍛えた声量、歌唱力で満場の聴衆を魅了、感動を呼んだ。

そのユウ燕とは、中国重慶市生まれ。西南大学音楽院卒業後、海外に雄飛〝世界の歌手〟を夢みて日本へ。日本語を学び、東京芸術大学声楽科修士課程を修了。日本新進音楽家オーディションに合格。初仕事が横浜ドリームランド花火大会の野外コンサートだという。

2003年テイチクレコードに所属「命のふるさと」でデビュー。2007年5月「日中親善平和大使」ついで北京市より癌患者「愛心大使」に任命された。

この間、中国四川大地震被災者を支援するチャリティーコンサートを東京、神戸、長崎…を縦断公演したほか、〝アジアの歌姫〟テレサ・テンが生前愛した形見のチャイナドレスを着て没後10年追悼イベントのステージで「恋人たちの神話」を熱唱した。

エフエム立川の新番組では「自分の曲や想い出の曲を歌います。孔子の言葉などを引用したりして、日本と中国の違うところをお話ししたい。中国語のことば講座にもふれたい」と盛りだくさんな30分。新番組『心心相約』約束（目標）に向って、心と心をつなぐ）ことに意欲を燃やしている。

最後に「立川は大好きです。私の第2の故郷。市民の皆さんは親切で温かく迎えてくれます。毎回立川へ来るのを楽しみにしています。私は飾らずに、自然体で接していきたいと思っています」

ひと呼吸して「これからも謙虚な気持ちを忘れずに、古い良いところを尊重しながら、新しい道を切り開いていきたい」

さらに言葉を付け加えて、立川の子ども達に「お父さん、お母さんを大切にして下さい」と結んだ。

（10月11日の公演の楽屋控え室で）

毎月、ライブコンサート

なお、ユウ燕は11月から毎月1回、中央区銀座6―13―16パセラリゾーツで、ライブコンサートが行われている。1月13日、2月17日、3月17日のいずれも火曜日午後7時よりワンドリンク制5000円。予約は☎03（3374）0627フルマークへ。

また、12月16日（火）午後6時30分から新宿「なだ万アプローズ」ユウ燕クリスマスディナーショーが開かれる。食事・ドリンクつき1万5000円。申込みは☎03（3377）1635つばめの会事務局へ。

木村秀夫が風景画展

11月27日（木）から12月2日（火）までの午前10時～午後6時、立川駅北口、歩いて2分のフロムで、第24回木村秀夫風景画展が開かれる。

悲しみのピアノ三重奏曲

12月25日（木）午後7時から立川駅北口、立川市女性総合センター1階アイムホールで、「悲しみのピアノ三重奏曲～偉大な芸術家の思い出に」が開かれる。出演はピアノ／鷺宮美幸、ヴァイオリン／横山奈加子、チェロ／山本裕康。入場無料。

チャイコフスキー／ピアノ三重奏曲イ短調作品50「偉大な芸術家の思い出に」ほか。問い合わせは☎042（531）9043 1西砂学習館へ。

中小企業の事業継承セミナー

12月3日（水）午後2～4時、立川駅北口、立川ビジネスセンタービル12階の立川商工会議所大会議室で、「これだけは知っておきたい！中小企業の事業継承と株式対策セミナー」が開講される。受講は無料。申し込みはFAX0042（527）5913☎0042（527）2700澤田さんへ。定員40人。

デートDV講演会

11月27日（木）午後3時30分～5時30分、日野市大坂（日野駅下車）の実践女子大学香雪記念館で、配偶者暴力被害者支援連絡会講演会「束縛は愛のしるし？気づいてほしいデートDV」が開講される。講師はアウェア代表・山口のり子さん。参加費は無料。申し込みは☎042（584）2733日野市男女平等課へ。保育は先着6人まで。